

Title	三田商学研究第67巻自第1号至第6号総目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2025
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.66, No.6 (2025. 2) ,p.87- 89
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20250200-0087

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田商学研究 第67巻 自第1号 至第6号 総目次

講演録

	号	頁
経営経済学の方法と課題……………	榊 原 研 互	3・3
社会的責任とCSRは違う！……………	岡 本 大 輔	3・21
薔薇色の研究者人生……………	友 岡 賛	5・1
福澤諭吉と複式簿記の伝播……………	友 岡 賛	5・5

論文

複会計システムの諸相……………	友 岡 賛	1・1
—— 会計学の基本問題〔Ⅵ〕（5）——……………		
サステナビリティ時代におけるコーポレート・エコノミーの行方（Ⅱ）……………	谷 口 和 弘	1・13
公共工事入札をめぐる坂東市に係る4つの事件……………	牧 厚 志	1・33
—— 国家賠償法と独占禁止法——……………		
減価償却と取替法……………	友 岡 賛	2・1
—— 会計学の基本問題〔Ⅵ〕（6）——……………		
公共工事入札をめぐる坂東市に係る4つの事件・再訪……………		
—— 茨城県公共工事談合事件とそれに係る損害賠償請求事件（住民訴訟） ならびに談合と高い落札率，予定価格の算定基礎，住民訴訟についての一考察——……………	牧 厚 志	2・13
富士フィルムにおけるケイパビリティ進化のマルチレベル分析……………		
—— 会社の永続化に向けたパーパス志向型……………	谷 口 和 弘	2・35
サステナビリティ経営（Ⅰ）——……………	W. マーク・フルーエン	
グローバル・バリュー・チェーン（GVC）と……………		
非出資型（NEM）国際生産がホスト国企業に与える影響……………	井 口 知 栄	3・37
—— 東南アジアにおける機会と課題——……………		
技術戦略のデザイン品質……………		
—— ソニーグループにおけるアクション・リサーチと……………	岩 尾 俊 兵	3・57
リチウムイオン二次電池の事例分析——……………	鉄 川 弘 樹	
本社部門の規模分布……………		
—— 事業セグメントデータによる予備的分析——……………	牛 島 辰 男	3・77
コーポレート・ガバナンス改革の潮流……………		
—— 2つのコードを通じた規制——……………	内 田 大 輔	3・89
リーダーが認識する経営理念の実践……………	王 英 燕	3・109
ステータスがラディカルな組織変革に与える影響……………	小 沢 和 彦	3・125
ダイナミック・ケイパビリティ・ベースの人的資本経営……………	菊 澤 研 宗	3・141
—— 市場，組織，そしてハイブリッド——……………		
従業員の健康と組織文化……………		
—— 睡眠とエンゲージメントの関係——……………	佐 藤 和	3・153
経営学の実用性をめぐる一考察……………		
—— ドイツ経営経済学における議論から——……………	柴 田 明	3・169

Prevailing Differences in the US, German and Japanese Corporate Governance

..... Franz Waldenberger	3・187
伝統的経営者業績指標の再整理	
—— 利益・キャッシュ・フロー・付加価値の併用可能性の検討 ——	大 柳 康 司 3・201
ステークホルダー・ガバナンス形態の連続的態様	梶 脇 裕 二 3・217
障害者と健常者が共に働く職場におけるリーダーシップ行動の特徴と影響	篠 原 欣 貴 3・231
ダイナミック・ケイパビリティ論の理論的性格	永 野 寛 子 3・247
ダイナミック・ケイパビリティとスーパーオーディナリー・ケイパビリティ	橋 本 倫 明 3・259
—— その区別と理論的意義 ——	
組織の持続性問題の論点	
—— 要因間のゆがみの対処法 ——	馬 場 杉 夫 3・275
テレワークとオフィスワーカーの動機づけ	
—— 再考 ——	古 川 靖 洋 3・287
旧東ドイツ地域における同族経営の再興	
—— 正当性概念と秩序に着目して ——	堀 口 朋 亨 3・305
情報の重要性和結合性による情報開示の検討	宮 川 宏 3・321
企業倫理とミーニングフル・ワーク	
—— 日本企業を対象とした今後の研究に向けて ——	本 橋 潤 子 3・333
経営学における一つの認識視座としての価値創造	
—— 21世紀のドイツ語圏における経営経済学の研究展開から ——	山 縣 正 幸 3・351
近世日本の享保時代における懷徳堂と心学講舎の登場の再検討	李 恵 薫 3・379
社会性視点からの健康経営	
—— 小売業を対象とした「こころの健康」実証分析 ——	渡 辺 林 治 3・395
会計制度の弾力性	
—— 会計学の基本問題〔Ⅵ〕（7） ——	友 岡 賛 4・1
富士フィルムにおけるケイパビリティ進化のマルチレベル分析	
—— 会社の永続化に向けたパーパス志向型	谷 口 和 弘 4・11
サステナビリティ経営（Ⅱ） ——	W. マーク・フルーエン
法と経済学の実証分析要論（1）	
—— 仮説としてのミクロ経済学とマクロ経済学 ——	牧 厚 志 4・27
比較制度分析とは何か（Ⅰ）	谷 口 和 弘 4・51
イベントスタディで見た「買い推奨銘柄」の株価動向	辻 幸 民 4・65
戦前の財務管理委員会による基準設定の意義	中 村 文 彦 5・25
イタリアにおける会計士団体の創設とアソシエーションイズム	岡 嶋 慶 5・47
会計の「拡張」の捉え方	
—— 企業会計のプロトタイプとの関係性を巡って ——	田 口 聡 志 5・69
黎明期の非営利組織の会計	
—— 戦前の社会事業分野を中心に ——	國 見 真理子 5・85
ASBJ に対するコメントレーターの記述的検討	中 山 重 穂 5・103
再保険契約の会計処理の検討	
—— 認識と表示の論点を中心として ——	川 崎 芙 有 5・117
日本企業における経営企画部門の役割とコントローラー	
—— FP&A への動きからの検討 ——	横 田 絵 理 5・135

慶應義塾大学通信教育課程における『簿記論』の変遷	平 野 智 久	5・145
—— いわゆる会計等式に着目して ——		
財務報告とサステナビリティ情報開示における	浅 野 敬 志	5・167
重要性（マテリアリティ）の役割と課題		
コーポレート・ガバナンスにおける経営者のアカウンタビリティ	坂 井 恵	5・181
—— ステイクホルダーとの協働との関わりを中心として ——		
オープン・イノベーションのジレンマ	今 野 喜 文	5・205
—— スタートアップと大企業とのオープン・イノベーション成功の条件 ——		
報酬としての株式の無償交付の会計	名 越 洋 子	5・223
—— 譲渡制限付株式報酬を中心に ——		
簿記教育における疑問点について	園 田 智 昭	5・237
複式簿記の制約と意義	木 村 太 一	5・245
会計におけるフロー	友 岡 賛	6・ 1
—— 会計学の基本問題〔Ⅵ〕（8） ——		
比較制度分析とは何か（Ⅱ）	谷 口 和 弘	6・ 11
日本の工作機械産業の競争力と modularization	日 高 千 景	6・ 27
レジリエンス・パラドクス	谷 口 和 弘	
—— ポスト・フクシマ時代における日本の	ロビン・ニコルソン	6・ 55
原発依存型エネルギー政策（Ⅰ） ——	アニタ・T. シ	

研究ノート

分類的複式簿記の成立条件と複式簿記の記録対象	木 村 太 一	2・ 49
------------------------	---------	-------

資 料

研究開発に関する調査2023		
—— 17年間の変化傾向と単純集計の結果 ——	濱 岡 豊	1・ 57

その他

榊原研互教授退任記念号発刊にあたって	岡 本 大 輔	3・ 1
榊原研互教授 略歴および業績目録		3・415
岡本大輔教授退任記念号発刊にあたって	牛 島 利 明	3・ 19
岡本大輔教授 略歴および業績目録		3・419
友岡賛教授退任記念号発刊にあたって	牛 島 利 明	5・巻頭
友岡賛教授 略歴および主要業績		5・257